



2026 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 リケンテクノス株式会社
代 表 者 代表取締役 社長執行役員 常盤 和明
(コード：4220 東証プライム)
問 合 せ 先 代表取締役 副社長執行役員 管理本部長
入江 淳二
電 話 番 号 03-5297-1650 (代)

配当方針の変更（連結配当性向引き上げ）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株主還元の強化と資本効率の向上を目的として、配当方針を下記の通り変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、3ヵ年中期経営計画「One Vision, New Stage 2027」のもと、「価値創造するバランスシート」に向けた改革を進めており、成長/戦略投資の強化とともに株主の皆様への還元も重要な経営課題の一つと位置付けて取り組んでおります。この観点から、持続的な利益成長の成果をより明確に株主の皆様へ還元する方針を示すことが、中長期的な企業価値および株主価値の向上に資するものと考えております。

今般、当社の財務基盤、今後の投資計画および資本効率の向上に向けた取り組みを総合的に勘案し、株主還元姿勢を一段と明確化するとともに、安定的かつ持続的な配当の充実を図るため、現行のDOE（連結株主資本配当率）の基準は維持しつつ、連結配当性向を40%以上に引き上げることといたしました。

今後も、成長投資による収益基盤の拡大と株主還元の強化を両輪として、資本コストを意識した経営を推進し、企業価値の持続的な向上を目指してまいります。

2. 変更の内容

(1) 変更前

当社は、中長期的な企業価値の向上を通して株主還元を図ることを経営上の重要課題の一つと位置付けており、配当については、連結配当性向 35%以上またはDOE（連結株主資本配当率）3.5%以上のいずれか高い方の基準を適用した上で、今後の事業投資と自己資本の充実等も勘案し、安定的かつ持続的な配当を行う。

(2) 変更後

当社は、中長期的な企業価値の向上を通して株主還元を図ることを経営上の重要課題の一つと位置付けており、配当については、連結配当性向 40%以上またはDOE（連結株主資本配当率）3.5%以上のいずれか高い方の基準を適用した上で、今後の事業投資と自己資本の充実等も勘案し、安定的かつ持続的な配当を行う。

3. 変更の時期

2027 年 3 月期の中間配当より適用いたします。

(ご参考)

2027 年 3 月期の中間配当及び期末配当予想につきましては、本日付け「2027 年 3 月期 配当予想の修正に関するお知らせ」において開示しております。詳細はそちらをご参照ください。

以 上